

我が国における「国連持続可能な開発のための教育の 10 年」 実施計画の見直しについて（案）

国連持続可能な開発のための教育の 10 年関係省庁連絡会議

1. 背景

我が国における「国連持続可能な開発のための教育の 10 年」実施計画（以下「国内実施計画」という。）においては、「2009 年までの前半の 5 年間の取組については、優先的に取り扱うべきとされた環境と開発に関する課題を中心に、環境、経済、社会の三つの要素を基盤としつつ取り組み、2010 年には、この結果を踏まえた見直しを行います。」とされている。また、本年 3 月から 4 月にかけて開催されたドイツボンでの ESD 国際会議での成果を踏まえ、後半 5 年における我が国の取組の方向性について検討を行う必要がある。

2. 見直しの進め方イメージ

（1）前半 5 年の取組の評価について

○国内実施計画の各項目毎（国内実施計画 P9～P11）に各省の取組、各主体に期待される取組（P12～P17）の進捗状況を関係省庁において整理、レビュー。各主体に期待される取組については、円卓会議のメンバー等の協力を得て、整理、レビュー。

○指標を用いた ESD の進捗状況の把握の検討

ユネスコ・バンコク事務所が作成したアジア太平洋地域の ESD 指標の報告書や EU 等の取組を参考にしつつ、日本で活用できる指標を選定し、評価。

（2）見直しの作業、手続きについて

- ① 関係省庁連絡会議で骨子を作成
- ② 第 2 回円卓会議において骨子に係る意見交換
- ③ 関係省庁連絡会議で改正実施計画案を策定
- ④ パブリックコメントの実施、第 3 回円卓会議において意見交換
- ⑤ ユネスコ国内委員会等において改正実施計画案を報告
- ⑥ 平成 21 年度末 実施計画改訂